



日南マルキガス本社外観

本社と宮崎営業所の従業員13名で、約3,350件の顧客を支える日南マルキガス（昭和28年創業）。宮崎県南部・日南市を拠点に、海と山に囲まれた自然豊かな地域でガス供給を続けている。鶴戸神宮や日南海岸など観光名所が点在する一方、住宅は戸建てが中心。人口構成は高齢者が多く、特に沿岸部での高齢化が顕著だ。こうした地域性から、ガス会社には「すぐ駆けつけてくれる安心感」が求められる。しかし近年では、従業員の高齢化、人手不足、さらに過去の災害による道路寸断など、業務を取り巻く環境は厳しさを増している。

LPWA導入の背景と現場の奮闘

こうした課題を解決するため、同社は補助金事業を活用し、LPWAの導入を決意。初回は1,700件、2回目となる今回で650件を設置した。設置作業は社員総出で行われ、繁忙期との重なりで苦労もあったが、「導入にはメリットしかないと判断し、従業員同士できる限りフォローし合いながら乗り越えた」と担当者は語る。

その効果は早速発揮された。2024年8月、日南市を中心に発生した震度5強の地震では、複数の顧客から「ガスが出ない」との通報が相次いだ。現場に行かずに遮断状況をシステムで確認できたため、対応時間が大幅に短縮。「現場に行かずに安全確認ができたのは大きい。時間のロスがなくなり、対応スピードが格段に上がった」と担当者は振り返る。



LPWA事業の責任者である内田将雅社長(左)、内田有能専務(中央)、営業サイドから事業を支えた丸崎課長(右)

検針負担軽減とサービス向上、配送効率化も

検針業務も様変わりした。従来は一軒ずつ訪問してメーターを確認していたが、現在は残量や異常を遠隔で把握できるため、空いた時間は保安点検や顧客訪問に充てられ、サービスの質向上にもつながっている。ガス機器の調子伺いや安全確認など、きめ細やかな対応が可能になったことで、顧客満足度も高まっているようだ。

配送業務の効率化も大きな成果だ。従来は「職人の勘」に頼っていた残量予測が、データに基づく判断に変わり、ガス切れ防止に効果を発揮。遠隔で残量を確認できるため、無駄な訪問や緊急配送が減り、ルート計画も最適化された。特に宮崎営業所では配送業務を外部に委託しており、委託先からは「残量管理が容易になり、配送ルートの無駄が減った」とのことで外注コストの削減にも役立っている。

本社敷地の隣には岩谷産業のLPガスタンクがあり、同社が運営管理を担っている。安全管理を徹底しながら、地域のエネルギー供給を支える体制だ



今後はWeb請求や災害対応強化を視野

同社は今後、Web請求システムの導入を予定。現在、メーカーと連携し、宮崎営業所を中心に2026年春頃からの運用開始を目指している。また、海岸線は台風や豪雨で通行止めになることが多く、今後も災害対応力の更なる強化が課題となっている。システム導入は、こうした課題を解決する切り札としても期待されているようだ。

担当者は「地域に安心を届けるため、時代に合わせた取り組みを続けたい」と、締めくくった。



LPWAを活用した集中監視システムで状況を確認

LPWA通信システムの実態調査票(事前調査)

フリガナ	ニチマルガス株式会社			会社所在地	宮崎県日南市大字平野1485番地1						
会社名	日南マルガス株式会社			事業責任者名	内田 将雅	役職名	代表取締役				
連絡先	部署名				電話番号	0987 - 23 - 3441	従業員数	13名			
	担当者名	内田 将雅			ホームページ	なし					
会社設立	西暦	1953年	8月	25日	顧客件数	3,350件	内家庭用	3,000件	業務用	350件	
事業内容	1. LPガスの販売及び保安業務										
	2. 灯油の販売										
	3. 住宅リフォーム										
	4. ガス機器の販売										
会社の強み	1. 地域密着型の経営										
	2. ベテラン社員が多く、迅速な対応と顧客満足度の向上につながっている。										
	3.										
	4.										
LPWA通信システムの活用方法	<input type="checkbox"/> システム連携 <input type="checkbox"/> 販売管理 <input type="checkbox"/> 料金請求 <input checked="" type="checkbox"/> 配送 <input checked="" type="checkbox"/> 保安 (該当項目をクリック)										
	<具体的活用方法> ・自動検針(検針業務の効率化)・容器残量確認・配送業務効率化・緊急時の通報及び対応										
LPWA通信システムの導入目的	<申請前における業務上の問題点> 検針業務者の高齢化(社員OB・パートさん)の問題や人材の確保の難しさに課題があった、また日南海岸線は災害の発生が近年多数あり、海岸線が長期にわたって通行止めになる時もあり、海岸線上に約70軒あるお客様の安全確認や検針・配送業務にう回路使って対応するなど苦労した経験があった。										
	<導入によって期待する効果> LPWAの導入により、スムーズな検針業務と業務の労力軽減、コスト面では人件費の削減と燃料費の削減が期待される。又、災害が発生した場合のメーターの確認や復旧活動に大きく役立つと期待しています。										
設置状況	今回設置件数	650件	累計設置件数	2,310件	全顧客に占める設置率	69.0%					
導入費用	総金額	5,362,500円			内補助金対象金額	5,362,500円	補助金額	2,437,500円			
導入期間(今回分)	補助金申請日	西暦	2024年	6月	27日	所要期間	実行体制				
	機器設置完了日	西暦	2025年	1月	31日	6ヶ月	合計	8名	内社内	8名	内社外

LPWA通信システム導入までのスケジュール

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
導入までのスケジュール	●仕様検討													
	●機器メーカー選定													
	●設置先の選定													
	●補助金申請書作成													
	●事前調査													
	●事前周知													
	●設置工事													
	●試験運用													
	●本格運用													
	●メーカー講習会													
●その他 ()														

通信機器メーカー選定理由	以前利用していた自動検針システムの時から同メーカーを利用していたため。
導入・設置を進める中で生じた問題点とその改善策	<発生した問題点> お客様の敷地内での作業になるため、不在客への対応や高齢者宅への取り付け時の説明
	<上記問題点を改善した方法> 訪問時の取付に関するお知らせの文書を持参し、不在客への対応と高齢者宅への説明に活用した。
導入によって得られた効果や想定外の効果・エピソード等	検針業務の負担軽減、配送業務の効率化。普段あまり使用量の多くないお客様が急に使われた場合でも、容器残量の確認ができるため、ガス切れを予防できた。
導入によって削減できた費用	検針業務や配送業務の効率化により無駄な燃料費や人件費の削減につながった
反省点	取付時期と繁忙期が重なったため、思うように取り付けが進まないときもあったので、スケジュールを確認したうえで取付場所や個数を選定するべきだった。

他用途への拡充意向	<input checked="" type="checkbox"/> Web請求	<input type="checkbox"/> SNS運用	<input type="checkbox"/> 遠隔地開閉栓	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急時対応	<input type="checkbox"/> 最適な料金提案 (該当項目☑をクリック)
	<input type="checkbox"/> 機器拡販	<input type="checkbox"/> 省エネ提案	<input type="checkbox"/> 電気等セット販売	<input type="checkbox"/> イベントへの集客	<input type="checkbox"/> その他 ()

自己評価	5 大変だった 4 やや大変だった 3 普通 2 あまり大変ではなかった 1 大変ではなかった	作業項目	評価 (数字を入力)		評価5または4の具体的な理由
自己評価		●申請作業	3	普通	
		●仕様確定	3	普通	
		●メーカー選定	3	普通	
		●事前周知	3	普通	
		●設置工事	3	普通	
		●試運転	3	普通	
申請から導入後 (現在) までにあった、反響・意見・要望等		社内から	配送部や検針をする人の意見を取り入れて設置先の選定を優先したため、取り付け先の場所がばらばらに点在したため移動などに時間を要した所があった。		
		業界・取引先などの社外から	宮崎営業所はほぼ100%設置ができたため、配送業務の委託先から業務の効率化や管理がしやすくなったとの意見があった。		
		お客さまから	家の裏まで入らずに検針ができることで、プライバシーを確保できることやメーター遮断時にすぐに対応できることに感謝された。		
補助事業申請予定事業者へのアドバイス (こうしておけば良かった、注意すべき点等)		集合住宅は空き家になると、未稼働になる可能性があるため無駄になりやすいため業務用や戸建て住宅を中心に選定する方が無駄が少なくいい。			